



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 株式会社カワニシホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/home.asp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	81,105	4.5	960	79.6	1,026	91.6	661	121.7
28年6月期第3四半期	77,649	9.4	534	9.9	535	10.2	298	13.7

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 685百万円(126.4%) 28年6月期第3四半期 302百万円(△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	117.89	—
28年6月期第3四半期	53.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	35,064	5,256	14.6
28年6月期	31,049	4,593	14.8

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 5,117百万円 28年6月期 4,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,069	3.6	1,000	84.0	1,060	90.3	660	115.9	117.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社エクソーラ 、除外 1社(社名)  
 メディカル
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	6,250,000株	28年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	639,332株	28年6月期	639,284株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	5,610,702株	28年6月期3Q	5,610,762株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は811億5百万円(前年同期比 4.5%増)、連結経常利益は10億26百万円(前年同期比 91.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億61百万円(前年同期比 121.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### 〈医療器材事業〉

成長の軸となる消耗品全体の売上高は、市場環境が厳しい中にありながらも堅調に推移し前年同期比102.1%となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品は、外科用止血材(手術時の出血を抑制するゼラチン状の物質)、局所陰圧閉鎖療法(創部を吸収材で覆い陰圧にして治癒促進)に関連する材料、また血糖測定器をはじめとする糖尿病関連機器などの販売が進みました。またシェアの低いエリア(東京都・栃木県・鳥取県・高知県・徳島県)で新規開拓が進み2桁成長を実現しました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比103.5%となりました。

整形外科消耗品は、新規開拓が進んだことや既存得意先での症例増加により、売上が順調に拡大しました。特に人工関節置換手術や骨折部位の整復手術(金属製プレートで骨を接合)、脊椎固定手術(変形した背骨を矯正し固定)が増加し、整形外科消耗品全体の売上高は前年同期比103.5%となりました。

循環器消耗品は、医師の異動に伴う一時的な症例の減少などの影響により、売上高が前年同期比98.9%となりました。しかしながら、カテーテルアブレーション(心臓の脈が速くなる頻脈の原因となる心筋組織を高周波で焼灼)関連製品の販売は前年同期比122.8%と伸びており、循環器消耗品の新たな成長の軸となりつつあります。

設備・備品は、モダリティ(CTやMRI、超音波検査装置等に代表される大型画像診断機器)や、手術室設備の需要を確実に受注に結びつけました。その結果、設備・備品の売上高は前年同期比113.8%となりました。

また、医療器材事業全体として、経費の削減や仕入の改善を実施し、生産性を改善しました。

その結果、医療器材事業は、売上高724億84百万円(前年同期比 4.3%増)、営業利益9億65百万円(前年同期比 73.0%増)となりました。

#### 〈SPD事業〉

SPD事業は、今期から5施設で新たにSPDを開始したことと、一部の得意先においてシステムの更新が発生したことにより売上高・営業利益共に拡大しました。

その結果、SPD事業は、売上高115億47百万円(前年同期比 3.4%増)、営業利益84百万円(前年同期比 10.6%増)となりました。

#### 〈介護用品事業〉

介護用品事業は、介護用ベッドなどを中心としたレンタル先が引き続き増加しています。新規参入エリアとなる福島県や宮城県においても着実にシェアを伸ばしており、レンタルの売上高は前年同期比111.4%となりました。

また介護用品の販売や介護用住宅リフォームの営業活動も引き続き強化しています。

その結果、介護用品事業は、売上高14億円(前年同期比 13.3%増)、営業利益67百万円(前年同期比 34.0%増)となりました。

#### 〈輸入販売事業〉

輸入販売事業は、事業の立ち上げにともない先行費用が発生しています。

その結果、輸入販売事業は、営業損失13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は350億64百万円となり、前連結会計年度と比べ40億15百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が6億33百万円、受取手形及び売掛金が35億71百万円、商品が4億33百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が74百万円、無形固定資産が67百万円、投資その他の資産が1億71百万円それぞれ減少したことによるものです。

また、負債は298億7百万円となり、前連結会計年度と比べ、33億52百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が25億4百万円、電子記録債務が3億13百万円、短期借入金が7億79百万円、役員退職慰労引当金が42百万円それぞれ増加した一方で、長期借入金が2億51百万円減少したことによるものです。

純資産は52億56百万円となり、前連結会計年度と比べ、6億62百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により6億61百万円、非支配株主持分が1億39百万円それぞれ増加した一方で、配当金により1億68百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、0.2ポイント減少し、14.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成28年8月9日に公表した平成29年6月期の連結業績予想を修正しています。その内容につきましては、平成29年4月28日に公表しています「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社エクソーラメディカルを新たに連結の範囲に含めています。

なお、株式会社エクソーラメディカルは当社の特定子会社に該当しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,142,565	2,775,884
受取手形及び売掛金	18,116,724	21,688,263
商品	4,147,346	4,581,208
その他	1,048,659	738,879
流動資産合計	25,455,296	29,784,236
固定資産		
有形固定資産	3,745,901	3,671,136
無形固定資産		
のれん	34,717	—
その他	211,900	178,811
無形固定資産合計	246,618	178,811
投資その他の資産	1,601,919	1,430,559
固定資産合計	5,594,439	5,280,507
資産合計	31,049,735	35,064,743
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,495,535	18,999,805
電子記録債務	4,493,950	4,807,546
短期借入金	1,794,860	2,574,833
未払法人税等	224,050	312,767
賞与引当金	27,831	59,367
その他	1,308,701	1,138,563
流動負債合計	24,344,930	27,892,884
固定負債		
長期借入金	881,636	630,383
役員退職慰労引当金	622,290	665,205
退職給付に係る負債	365,945	367,696
その他	241,072	251,787
固定負債合計	2,110,943	1,915,073
負債合計	26,455,874	29,807,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	346,954
利益剰余金	4,500,762	4,991,203
自己株式	△834,279	△834,339
株主資本合計	4,617,982	5,111,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,866	155,052
退職給付に係る調整累計額	△165,987	△149,036
その他の包括利益累計額合計	△24,121	6,016
非支配株主持分	—	139,201
純資産合計	4,593,861	5,256,785
負債純資産合計	31,049,735	35,064,743

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	77,649,733	81,105,460
売上原価	69,907,220	72,832,281
売上総利益	7,742,512	8,273,179
販売費及び一般管理費	7,207,977	7,313,003
営業利益	534,535	960,176
営業外収益		
受取利息	838	431
受取配当金	1,855	1,820
受取保険金	1,549	16,560
保険解約返戻金	—	48,783
受取手数料	8,916	6,008
売電収入	6,843	6,931
その他	16,883	17,211
営業外収益合計	36,887	97,748
営業外費用		
支払利息	24,101	17,339
売電費用	8,194	7,251
その他	3,339	6,955
営業外費用合計	35,636	31,545
経常利益	535,785	1,026,379
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,638
有形固定資産売却益	2,262	734
受取補償金	17,316	10,021
特別利益合計	19,578	18,394
特別損失		
有形固定資産除却損	291	751
無形固定資産除却損	213	—
特別損失合計	504	751
税金等調整前四半期純利益	554,859	1,044,022
法人税、住民税及び事業税	206,351	370,849
法人税等調整額	50,100	17,551
法人税等合計	256,452	388,401
四半期純利益	298,406	655,621
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,812
親会社株主に帰属する四半期純利益	298,406	661,434

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	298,406	655,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,203	13,186
退職給付に係る調整額	△1,652	16,951
その他の包括利益合計	4,551	30,137
四半期包括利益	302,958	685,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302,958	691,571
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,812



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	65,366,989	11,067,841	1,214,902	—	77,649,733	—	77,649,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,161,117	95,464	20,839	—	4,277,421	△4,277,421	—
計	69,528,107	11,163,305	1,235,741	—	81,927,154	△4,277,421	77,649,733
セグメント利益	557,966	76,137	50,534	—	684,639	△150,104	534,535

(注) 1 セグメント利益の調整額△150,104千円には、セグメント間取引消去△10,038千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△140,066千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D 事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	68,254,976	11,452,917	1,397,567	—	81,105,460	—	81,105,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,229,156	95,018	2,985	—	4,327,161	△4,327,161	—
計	72,484,132	11,547,936	1,400,552	—	85,432,621	△4,327,161	81,105,460
セグメント利益又は 損失(△)	965,138	84,217	67,700	△13,665	1,103,391	△143,215	960,176

(注) 1 セグメント利益の調整額△143,215千円には、セグメント間取引消去11,277千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△154,492千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更について

前第3四半期連結会計期間において「ライフサイエンス事業」に属していた高塚ライフサイエンス株式会社は、平成29年1月に「医療器材事業」に属している株式会社カワニシを存続会社として合併しました。これに伴い、「ライフサイエンス事業」に含めていた高塚ライフサイエンス株式会社の事業を第1四半期連結会計期間より「医療器材事業」に含めて表示しています。

また、第1四半期連結会計期間より株式会社エクソーラメディカルを連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして「輸入販売事業」を追加しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。